

【記入例】第一種人的保証

●各自が署名・押印してください。

①奨学金の種類

あなたが貸与を受ける奨学金の種類が印字されています。

- 貸与種別
第一種：無利子
第二種：有利子
- 保証区分
機関保証：保証機関の連帯保証を受ける制度
人的保証：連帯保証人及び保証人の保証を受ける制度

②誓約日

・スカラネットで入力した誓約日です。

③借用金額

- ・現在の貸与月額で予定の貸与終期まで貸与を受ける場合の借用総額です。
- ・第一種奨学金が併給調整されている場合の借用金額は、申込時の希望月額で予定の貸与終期まで貸与を受ける場合の借用総額です。ただし、奨学生証に印字されている給付併給による調整後の貸与月額が申込時の希望月額を上回る場合は併給調整後の月額により算出しています。

④奨学生本人

- ・印字内容が正しいことを確認してください。
- ・住所は現在住んでいる住所です。ただし、添付書類欄に「住民票」と印字されている場合は、住民票に記載された住所です。
- ・「採用種別」は、あなたの採用種別が印字されています。

⑤署名

- ・住民票の表記のとおり署名してください（住民票が旧字体の場合は旧字体のまま署名。外国籍の方でアルファベットで表記されている場合はアルファベットで、アルファベットと漢字が併記されている場合はアルファベットか漢字のどちらかで署名）。

⑥返還の条件(目安)

- ・貸与の条件(予定)で貸与を受けた場合の返還の条件(目安)が印字されています。
- ・返還総額は、本欄の「総支払い額」の金額となります。

①【第一種人的保証】

印紙税法第5条により印紙は必要ありません

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿
私は、独立行政法人日本学生支援機構学資貸与金を下記のとおり借用いたします。つきましては、独立行政法人日本学生支援機構貸与奨学規程その他の諸規程によって確認した事項を遵守し、「奨学生のしおり」記載の取扱いにしたがい返還することを誓約します。独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という）に提出した個人番号については、裏面記載の範囲で機構が個人番号を利用することに同意します。また、裏面の「個人情報同意条項」を承認し、同意します。なお、私が借用した学資貸与金は、第一種奨学金（無利息）であり、人的保証を選択しました。家計支持者として個人番号を提出している連帯保証人は、裏面記載の範囲で機構が個人番号を利用することに同意します。

返 還 誓 約 書

（兼個人情報情報の取扱いに関する同意書）

② 令和 XX 年 4 月 1 日

③ 借用金額

¥	2	4	4	8	0	0	0
---	---	---	---	---	---	---	---

④ 奨学生 本人	奨学生番号	6XX-XX-XXXXXX	CD	7	001	採用種別	予約			
	在学学校	日本学生支援大学								
⑤ 署名	住所	〒 135 - 8630 東京都江東区青海 2-2-1								
	電話番号	03-XXXX-1111	携帯電話番号	090-XXXX-6666						
	氏名	(奨学 太郎)		フリガナ シヨウガク タロウ						
貸与の 条件(予定)	平成 XX 年 11 月 11 日生	性別		男						
	貸与期間	20XX 年 4 月 ~ 20XX 年 3 月	貸与月数	48 月	貸与月額	51000 円	貸与額計	2448000 円		
		年 月 ~ 年 月	月	月	円	円	円	円		
		年 月 ~ 年 月	月	月	円	円	円	円		
		年 月 ~ 年 月	月	月	円	円	円	円		
⑥ 返還の 目安	返還期日	毎月27日	返還回数	180 回	初回割賦金	13600 円	割賦金	13600 円	最終割賦金	13600 円
	月賦返還	1	月賦返還選択時の総支払い額	2448000 円						
	併用返還	2	併用返還選択時の総支払い額	2448000 円						

	返 還 期 日	返還回数	初回割賦金	割賦金	最終割賦金
月賦返還	毎月27日	*** 回	*** 円	*** 円	*** 円
	月賦返還選択時の総支払い額				*** 円
併用返還	月賦分 毎月27日	*** 回	*** 円	*** 円	*** 円
	半年賦分 毎年1・7月の27日	*** 回	*** 円	*** 円	*** 円
	併用返還選択時の総支払い額				*** 円

※返還の方法は、本返還誓約書で選択された「月賦返還」又は「月賦・半年賦併用返還」とします。但し、右上印字の返還方式が「所得連動返還方式」の場合は、「月賦・半年賦併用返還」は選択できません。割賦金額等は予定であり、確定した金額は、貸与終了後に通知するものとします。返還回数と割賦金額の計算方法は、「奨学生のしおり」に記載してあります。

※給付奨学金の支援対象者が第一種奨学金の貸与を受ける際の借用金額については、裏面【返還誓約書記載事項について】の3を参照してください。

※人的保証とは連帯保証人及び保証人による保証を受ける制度。機関保証とは保証機関による保証を受ける制度をいいます。

※機構は、奨学金の貸与を受けていた者が奨学生としての身分を失った際には、「借用金額」として貸与した奨学金の差額を貸与する義務を負わないものとします。

※ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務（返還業務を含む。）のために利用されます。

この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む。）が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。

また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

**必ず月賦返還1又は併用返還2を選択し、
チェックボックスに✓を記入してください。**

選択した割賦方法は変更できませんので十分検討して✓を記入してください。

(同一筆跡・同一印は不可)「奨学生本人」、「親権者(2)」は押印不要。

※第一種奨学金において、下には「定額返還方式(貸与額に応じた返還回数で算出された割賦金で返還する方式)」又は「所得連動返還方式(機構が所得に連動して算出した割賦金で返還する方式)」のうちから、あなたが選択した返還方式が印字されています。
 ※第二種奨学金においては、全て貸与額に応じた返還回数で算出された割賦金で返還する方式による返還となります。

【提出用】

⑦〔定額返還方式(猶予年限特例)〕※裏面(項番22)参照

※本人が未成年者(18歳未満)の場合には、親権者が返還誓約書の記載内容及び機構の諸規程を確認し、同意のうえ、所定の欄にそれぞれ署名してください。親権者とは、民法に定められた親権者のことです。親権者がいない場合には、未成年後見人が同様に署名してください。

連帯保証人 ⑧	住所 〒 162 - 8431 東京都新宿区市谷本村町 10-7	実印
	電話番号 03-XXXX-0000 携帯電話番号 090-XXXX-9999 氏名(奨学 一郎) フリガナ ショウガク イチロウ 署名 奨学 一郎	
	⑩続柄 父 昭和 XX 年 1 月 1 日生 勤務先 電話番号 03-XXXX-2222	
保証人 ⑨	住所 〒 153 - 8503 東京都目黒区駒場 4-5-29	実印
	電話番号 03-XXXX-9999 携帯電話番号 090-XXXX-8888 氏名(機構 明子) フリガナ キョウ アキコ 署名 機構 明子	
	⑩続柄 おは 昭和 XX 年 4 月 4 日生 勤務先 電話番号 03-XXXX-1234 ⑬(有) 機構商店	

⑩【誓約日において本人が未成年の場合】

親権者(2)	住所 〒 162 - 8431 東京都新宿区市谷本村町 10-7	印不要 ***
	電話番号 03-0000-0000 携帯電話番号 090-9999-0000 氏名(奨学 春子) フリガナ ショウガク ハルコ 署名 奨学 春子	
	⑩続柄 母 ** 年 ** 月 ** 日生	
氏名(フリガナ) ****	フリガナ ****	***
続柄	** 年 ** 月 ** 日生	***

添付書類

- ⑫
- ・連帯保証人の「印鑑登録証明書」(市区町村発行、コピー不可)
 - ・連帯保証人の「収入に関する証明書類」(コピー可)(例:源泉徴収票、市区町村発行の所得証明書等)
 - ・保証人の「印鑑登録証明書」(市区町村発行、コピー不可)

学校番号	104900
区 分	00
学部学科	2006
学籍 No	123456

●署名

- ・印鑑登録証明書の表記のとおり署名してください(印鑑登録証明書が旧字体の場合は旧字体のまま署名。外国籍の方でアルファベットで表記されている場合はアルファベットで、アルファベットと漢字が併記されている場合はアルファベットか漢字のどちらかで署名)。

⑬勤務先

- ・無職の場合は、印字されていません。無職のために空欄となっている場合は、訂正不要です。

(記入上の注意)

- ・黒又は青のボールペンを使って各自が署名・記入してください。ただし、消せるボールペンの使用は認められません。
- ・連帯保証人及び保証人の印は実印(添付する印鑑登録証明書と同一印)を使用し、朱肉で鮮明に押してください。不鮮明の場合は、再提出となります。
- ・記入を誤った場合は、誤った部分を二重線で消し、各欄内に正しい事項を記入してください。署名を誤った場合は、フルネームを二重線で消し、再度正しい署名を行ってください。ただし、連帯保証人・保証人の欄を訂正する場合は、二重線上に実印を訂正印として押印してください。修正をする際、紙貼り、修正液、字消し等を使用すること、なぞり書きをすることは認められません。
- ・印字事項を訂正する場合は、学校へ申し出てください。
 ※訂正方法の詳細は【訂正例】40～41 ページを参照してください。

※本ページの返還誓約書(見本)は、奨学生のしおり作成時点のもので、ご了承ください。

⑦返還方式

- ・奨学金申込み時に選択した返還方式(定額返還方式)が印字されています。
- ※(猶予年限特例)の印字がある人は、一定の収入・所得を得るまでの間、10年間の制限なく返還期限の猶予を願い出ることができます。

⑧連帯保証人

- ・スカラネットで入力した連帯保証人(あなたが未成年の場合は、連帯保証人兼親権者(1))の情報が印字されています。
- ・氏名・住所・生年月日・実印の印影が印鑑登録証明書と同じことを確認してください。異なる場合は、当該者による訂正が必要です。

⑨保証人

- ・スカラネットで入力した保証人の情報が印字されています。
- ・氏名・住所・生年月日・実印の印影が印鑑登録証明書と同じことを確認してください。異なる場合は、当該者による訂正が必要です。

⑩続柄

- ・「その他()」と印字されている場合は()の中にあなたとの具体的な続柄を記入してください(例:大おじ・大おば・知人・離婚した父・離婚した母等)。また、4親等以内の親族でない成人を連帯保証人・保証人に選任する場合は、「返還保証書」及び資産等に関する証明書類が必要です。

⑪親権者(2)

- ・あなたが未成年の場合は、スカラネットで入力した親権者(2)(親権者(1)以外の親権者)の情報が印字されています。

⑫添付書類

- ・必要な添付書類が印字されています。添付もれがないようによく確認してください。申込時にマイナンバー未提出の奨学生本人は、「住民票」を印字されており添付が必要です。